

## 草原の山頂と富士の展望の山 思親山

実施日 2019年4月13日(土)  
 天候 晴れ  
 リーダー 涌井 良明  
 参加者 涌井良明、石附智江、渋谷京子、宮崎敏男 計4名  
 費用  
 タイム 内船駅(9:52~10:00)内船寺(10:15)旧道分岐(10:40)佐野峠(12:10~40昼食)思親山(13:25~14:13)P984(14:25)舗装路出合(15:25)源立寺(15:50)八木沢峠(16:02)井出駅(16:35~17:14)甲府(19:15)

3月から続く週末どちらかが天気が崩れるパターンが今回も嵌まり前倒しで土曜に実施することになった。お陰でこの山の目的である山頂からの富士と対面することが出来てヨカッタ。青空の内船駅(うつぶな)で下車特急停車するけどなんと無人駅です。

駅から右へ小川を渡りすぐに右の線路沿いに、踏切を渡ると既に山頂までの長い登りが始まった、標高差は意外とあるのだ！まずは10分ほどで内船寺(ないせんじ)に立ち寄るが参道は200段以上あり



な階段でいきなりスタミナの消費を余儀なくされる。日蓮宗の寺で見頃の桜が迎えてくれた。本堂右手の墓地を抜けて曲折登りの道に戻る。春らしい桜が菜の花も見られる道を登っていく、と言っても登山道ではなく舗装路だ。

ポイント箇所には思親山設置を上げる、女性陣の止まりおしらの舗装林道の歩きも苦にならないようだ。やがて見通しのない森林帯になりただクネクネとゆっくり高度を稼いでいくのみである。



2時間を越して前方に明るさが見える

よくなって、ようやく佐野峠に着いた。Oh~！正面に巨大な山、もちろん富士さんです。今までと打って変わって明るく開けた駐車場、トイレもある峠だ。尤もこの先の林道は2本とも通行止めだった。昼も回っているので東屋で富士を眺めつつ昼食だ。

さて、ここからやっと山道になって山頂へ向かう。登山道になったが、今度は整備された階段道がしばらく続く。150行程を一気に登り数日前の雪も残る道を進む、脚に優しい山道の感触を感じながら緩く登降すると小広い山頂に出る。

富士桜が咲き、ベンチもあり、もちの姿も！



西側は南ア南端の山々が展望アプリで山座同定にトライするも馴染みのない眺めは難しい。帰路の時刻の調整からゆっくりお茶時間をとってから下山にする。歩き易い下りで開けた所から改めて富士



を見たり東海道の自然歩道を下る。道が林道クロスを2回で

舗装林道を下るようになり、茶畑や源立寺を見ながら下っていく。富士川が見え隠れするようになって、身延線踏切に飛び出す。すぐ脇が井出駅だった。おつかれさん。長い舗装路歩きはあつたが来られる機会も少ない地域で目的の富士にも会えたので良としたい。

桜と富士の眺め、久しぶり？の少人数も差し入れの分け前も多くなったりでウレシイこともあり良いものですね。

これからも歩ける間は皆さんといろいろな山に行ってみたいと思っています。



日程変更で断念された方には申し訳ありませんでしたが、展望目的の計画なのでご容赦ください。

(記&写真・涌井 良明)